

# セ ボ ネ

クガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2014.5 No.121

今月のトピック

特集●

## 傾聴ボランティアとしての 『看取り』を考える

まちの市民力 ● NPO フリースクール僕んち

◎キラリ世田谷人 中馬 和子 さん



イラストレーション● 姫野はやみ  
イラストレーター。世田谷区在住約10年。  
映画のポスター、書籍などのイラストを中心に活動中。

●わたしの世田谷  
世田谷区内をいつも自転車で駆け回っています。  
公園や図書館、パン屋さんなどたくさんのお気に入りを見つけました。  
これからもたくさんのお会いを楽しみに駆け回ります。

2012年に国立社会保障・人口問題研究所が実施した調査では、「ふだんどの程度、人とあいさつ程度の会話や世間話をするか」との問いに「毎日」と答えた80歳以上の男性は、76%、80歳以上の女性は、81%でした。ボランティアセンターやビューローにも「1週間もだれとも話していないんだけど・・・」「不安になることが多く、誰かと話したい」という声が届き、それに応えようと2010年度から自宅などにかがってお話を聞いたり、話したりする「傾聴ボランティア」の取り組みを進めてきました。その取り組みを進める中で出てきた課題や3月19日に開催した勉強会の様子について紹介します。



## ●特集

# 傾聴ボランティアとしての『看取り』を考える

傾聴ボランティアのこれまで

あんしんすこやかセンターなどからの紹介で2010年から2014年2月までに問合せをいただいた件数は、94件。そのうちの45%、42件で活動を行いました。現在は、33件（調整中6件含む）のお宅に訪問しています。

傾聴ボランティアの依頼は、80代で、介護保険の要支援程度の認定を受けている方が多く、「足や目が悪くなって外出が難しくなり、友だちと会ったり人と話す機会がなくなってしまう」「耳が遠くなって、デイサービスなどで集団

になじめなくなってしまう」という理由が多いようです。ひとり暮らしの方、ご家族と同居されている方、介護保険の認定を受けている方、受けていない方、障がいのある方など、毎日の中でゆっくり人と話すことができたらと感じている方の依頼を受けています。

依頼者は玄関まで出迎えてくれたり、お茶を用意して待っていてくれたり、「訪問を楽しみにしている」と話してくれます。ボランティアも「いろいろな経験をきかせてもらって勉強になっている」「会に行きのが楽しみ」と言います。はじめは緊張していても、徐々に

打ち解けて、お互いに会うことが楽しみになって続いているようです。

### 浮き上がってくる課題

活動を続けていると、いろいろな事情や地域の課題が浮かび上がってきます。

毎月1回行っている傾聴ボランティアの学習会の中では、「食事に誘われた」「毎食おひとりで食事されているのだと思うと心が痛い」「夕食をひとりで食べるのがつらいのよ」と話していた」という話や「筋力の低下が心配で散歩に付き合ってくれないか」「桜がきれいだから外に出掛けたいけれどひとりでは外出が難しいと話していた」と共通の話題やテーマが浮き上がってきます。ボランティアセンターで夕食会に取り組んでみたり、散歩の同行にも対応できるようにと試行錯誤をしています。

その中で、ひとつ大きな話題が上がりました。

家族とは離縁状態で、ひとり暮らしの方を訪問しているボランティアからの話でした。「本人が体調を崩していて、どうもそう長くないのではないかと自分は感じている。これまで話を聴いてきた中で、本人は家族ともう一度会いたいのではないかと感じている。自分は依頼者の話を聴いて、受け止めるのだと考えてきた。けれど、家族に会いたがっていること、本人の体調が思わしくないことを家族に知ってもらい、それを実現させてあげることができないだろうかと悩んでしまっている」という話題でした。

傾聴ボランティアとしてどうしたらよいか、またボランティア協会のスタッフ、活動を共にする傾聴ボランティアのメンバーは、どのようにその気持ちと活動を支えたらよいか、と悩みました。「傾聴ボランティアとしての看取り」はどうあるべきか、と。

そこで、東京の山谷にあるホ

スピス「きぼうのいえ」の施設長やまもとまさき山本雅基さんを招いて3月19日に勉強会を開催しました。山本さんから、ホームレス、路上生活者のホスピスという異色な「きぼうのいえ」のケアと、こう守り抜いていこうとしているのか、「きぼうのいえ」の日常の出来事やエピソードを織り交ぜながら話していただきました。つい笑ってしまったり、目頭が熱くなったり、2時間に及ぶ話の中から印象的だったエピソードについて紹介させていただきます。

聴く人がいるからこそ

語られる物語がある

入居者さんは「きぼうのいえ」で2〜3ヶ月経ったころに変わっていくのです。あるときフツと風向きが変わるような瞬間がある。洗濯物なんかを彼らのタンスにしまっているときに声がかかってくるのです。

「オレもいろんなことがあってよう」



エピソードを交えて話す  
「きぼうのいえ」  
山本施設長

それをじっくり聴いて「そんなことがあったんだあ」っていうと、「それからさ」って彼らの回顧録が始まるのです。こんな人もいます。田舎で、親御さんが先祖代々受け継いできた財産を全部売っぱらって、それを持って逃げてきたと。逃走するときに、追っ手になる家族が来られないように、タンスの中にあった着物を、全部十字にナイフで切り裂いて逃げてきた…。壮絶な話です。ぼくたちは、そんな話を聞いて絶句するのですが、その瞬間、ぼくたちは、貴重なきっかけをつかむのです。聴く人がいるからこそ語られる物語があるの

です』と話を聴くことの大切さを改めて教えていただき、傾聴ボランティアへの励みになりました。

いつしよに生きる

擬似的であつても家族だから

表札を見て、事務所に乗り込んでくる人もいます。「何が、『きぼうのいえ』だ、『きぼうのいえ』じゃねえ、ここは、『失望のいえだ』スタッフも慣れていて、それを文面通り受け止めません。「えっ何？『絶望のいえ』でないだけマシよね」と言い返します。言われたほうは、何と言いつ返していいかわからなくなつて、「言うねえ、あんたも」とか言つて思わず笑つちゃう。ナースコールで言い合いになることもあります。「くそばあ、くそばあ、と言われ続けたボランティアがついにキレて「何だとお？このくそ爺イ！！」とやっちゃうんですね。病院や普通の施設だったら、『暴言だ！！』『言葉のネグレクトだ』と問題になりますよね。それが許されるのは、ここのスタッ

フが入居者さんといつしよに生きており、擬似的であつても家族だ」という意識が流れているからだと思いません。

いつしよに生きる、家族のように人とかわわるという姿勢について話され、同じ地域で暮らす人にかかわる姿勢に大きなヒントをいただきました。

大いなるものへの楽天的な

信頼に基き、大いにやる

『きぼうのいえ』では、ナースコールが鳴ると、「さあ、行け」とはなりません。「生きてるな！」となります。「転倒事故」とは言いません。「あらまあ、こけちゃったのね」なんです。そこが強みなのです。病院で何か事故が起きた場合、「親族に訴えられたらどうしよう」という恐怖心が浮かび上がってきます。しかし、「恐怖に裏付けられた管理」というのは、なかなかいい方向にはいかないのではないかと私は個

人的に思っています。私は、もっと大いなるものへの楽天的な信頼というものを基礎にした援助の形を生み出していくことが大切だと思えます。病院から退院してきたときの話です。スタッフが「よく帰ってきたねー」と声を掛け、ハグをします。病院では、抱きしめる、ハグすることとはしませんよね。でも『きぼうのいえ』では、大いにハグしちゃいます。ここでは、大いにやりなさいというのが『きぼうのいえ』の考え方です。

こんなことを白状するとお医者さんに叱られるかもしれませんが、点滴スタンドのボトルの中に、焼酎や日本酒をこっそり仕込んで、それを胃瘻でちびちびやりながら野球放送を見ているなんていう人もいます。この場合、「飲んではいけない、飲んだ場合には、退去処分とする」というのがあってもいいのでしょうか、そうもいかないのです。ホームレスの人に、「飲んだら退去です」と言えば、「じゃあいいよ、退所し

てやるよ。酒を自由に飲んでも誰も文句を言わねえ、あの路上に戻ってやるよ」それで終わりです。そして結果的に、雨に打たれて低体温になったり、肺炎になったり、それで病院に運ばれる途中で死亡するという悲劇が予見されるのです。

そこでどうするかと言うと、お酒を自分で買っていく分には、私たちは何も手伝わす、言わないことにしました。飲む量についても何も言いません。しかし、飲みすぎて苦しくなった時には、遠慮なくナースコールで呼んでくれと言っており、そうすることで、何とか飲みたいという人と、できれば飲ませたくないという私たちの間でバランスを保っている状態です。命がけでも飲みたいという人の自己決定権、究極的には「死ぬ自由」もある、という見解の中でのせめぎ合いで、決定点の探り合い、一つの帰結点であるわけです。

大いなるものへの楽天的な信頼に基づいて、大いにやる。そして、その人の決定を支えていくという話は、なにか勇気をいただいた気持ちになりました。同時に、人間が人間らしく生きる姿を垣間見ることができました。

#### これからも試行錯誤を

この勉強会には、個人宅や施設で傾聴ボランティアに取り組む29人の活動者が参加しました。山本さんのお話を聞いた後、活動の報告、意見交換などをしました。個人で取り組む傾聴ボランティアのような活動では、同じ活動をしている人との意見交換や学び合いはお互いの励みになりとても貴重な時間です。新たな気づきや地域課題の発見にもつながっています。

これからも地域の「さびしい」という気持ちや地域の課題に 대응するために試行錯誤をしていきたいと思えます。(事務局 鈴木佑輔)



## NPO フリースクール 僕んち

# まちの 市民力!!

取材・鈴木朋子

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



羽根木公園そばにある「フリースクール僕んち」。僕んちは「遊びっ学び」「フリースクール＋プレーパーク」をポリシーに、既存の学校にはできない、自由を大切にしています。

代表のタカハシトールさんは「ストイックに絵を描いていた自分は、学生時代に美術教室を手伝うようになって、子どもの世界に初めて触れました。そんな中『教育に強制はほらない』という本、アメリカの『ホームエデュケーション』という考え方を知り、ピンときて目を開かされました。教育は親と子が選ぶ、主体性が大事なんだと。それ以来美術教室はフリースクール化していき、いまの

僕んちにつながります。また、きちんとフリースクールをつくるなら、絶対にプレーパークといっしょにあるべきだと思っているのです。羽根木公園近くにしました」と話します。

「字ぶ楽しさを勉強できた、というかわかったのは僕んちのおかげ」と、この春大学に進学した僕んちの利用者の若者は言います。小学生のころ、勉強一色だった環境から僕んちへきて、異年齢の子とのふれあいやすまざまな体験から得たものが多くとも話します。

僕んち開所中は、いつ来るのか、何をするのかしないのか、室内にいるのか、屋外へ出るのか、すべてその子ども自身の自由です。音

楽・読書・アート・地理・暗算・料理・

スポーツといったプログラムはあるものの、参加は自由。昼食も自分たちでつくるのか、持参してきたものを食べるのか、食べないのかも自分で選ぶ。毎日のプチミーティング、週一度のミーティング、年数回の大ミーティングを開いて、予定や行事、活動の仕方を決めたり、僕んちのルールを見直したり、子どもも大人も対等に話し合います。少数意見を切り捨てず、小さなことも大切にし、お互いの意見をぶつけ合い、尊重しあい、調整していくことを積み重ねることで個性や生き方をつくる場となっていくようです。

トールさんの理想は「1つの街に1つのフリースクール」

僕んちは羽根木公園が目の前、温かみのある建物と緑豊かな環境、心地よい日差しが相まって和やかな気持ちになりました。

毎週木曜夜、若者サロンも開催。ボランティアの活躍が、僕んちを支えています。ボランティア常時募集中！

NPO 法人僕んち TEL03-3327-7142 <http://members3.icom.home.ne.jp/bokunchi/>



お話をうかがった  
キッチンサロン三茶の

中馬 和子 さん  
ちゅうま かずこ

# や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵な方がたを  
ご紹介し  
取材●家井 雪子



中馬和子さんは『キッチンサロン三茶』を主宰しています。高齢の男性を対象に、『誰かと一緒にあたたかいご飯を食べる』ことを目的にして、毎月1回ボランティアといっしょに昼食をつくり食べるのを楽しんでいるサロンです。

中馬さんがこのサロンを始めたのは、地域の活動に参加してもなかなかなじめず、長続きしない高齢の男性が多いのを何とかしたいと考えてのこと。ここでは買い物以外はすべて参加者もいっしょに行うことで会話のきっかけができ、自然な人間関係が生まれています。開催は第2か第3の土曜日。家族で過ごすことが多い休日は、

ひとり暮らしにとっては寂しい日だからです。事前申し込みは不要、参加費は一回500円という高齢者が参加しやすいシステムで、家族がいてもたまにはひとりで出かけたという高齢者も参加し、もう8年も続いています。

中馬さんはサロンを始めるまでは、九州に住む実母の介護などで、ほとんど地域とはかかわりなく過ごしてきました。ガンで夫を亡くした時、寂しさと喪失感からなかなか立ち直れず、もし残されたのが夫のほうだったら家事のできない夫は生きていけないのではないかと考えたといいます。その思いが、高齢男性を地域でサポートす

る活動へと中馬さんの背中を押ししました。少しずつ始めた地域活動の仲間の協力で、デイホームで食事をつくって食べる会を始めたのです。

4年前からは下馬あんしんすこやかセンターの協力を得て、会場をボランティアセンターに移し、現在は70〜80代の参加者5、6人を3、4人のボランティアがサポートしています。参加者やボランティアの中には元料理関係の仕事をしていた方もいて、クリスマス会では本格的なおードブルも登場するとか。「私たちはボーダーレス。みんな同じ参加者です」と中馬さん。

「急に休んで迷惑をかけないよう体調管理が大切。だから元気でいられるのかもしれない」と笑う中馬さんの地道な活動は、高齢者に間違いなく生きる喜びを与え続けています。

「キッチンサロン三茶」は第2または第3土曜日開催  
問合せは090-2446-4502

時半

京

**ブルーパークのつくりかた**  
 5/23 (金)、6/6 (金) 10時～12時  
 男女共同参画センターらぶらす  
 詳細 P13

\*沿線別にイベントやボランティア  
 情報を入れていきます。  
 詳細は P10～15 をご覧ください。

**虐待防止センター  
 ボランティア相談員養成講座 2014**  
 5/23 (金) から全 10 回 14 時～17 時  
 虐待防止センター P15

●**小田急線沿線**  
 ☆国立成育医療研究センターの  
**ボランティア募集** 詳細 P10  
 ☆日本語教室ボランティア募集 詳細 P10

**代田ビューロー春のバザー**  
 5/30 (金)、31 (土) 10 時～  
 代田ボランティアビューロー P14

**かい児支援ボランティア養成講座**  
 5/5 (金)～6/27 (金)、9/5 (金)  
 13 時～16 時 全 5 回  
 梅丘ボランティアビューロー P14

**リサイクル市**  
 5/22 (木) 10 時半～14 時  
 世田谷ボランティアセンター

**チャイルドライン受け手養成  
 公開講座 2014**  
 6/6 (金)～7/25 (金)  
 19 時～21 時半 全 8 回  
 世田谷ボランティアセンター P14

東  
 ボランティア  
 玉川通り  
 目黒通り

**ココカフェ～発達障がいの方、  
 ここでゆっくりすごしませんか～**  
 5/9 (金) 13 時～16 時  
 玉川ボランティアビューロー P15





# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ● 京王線沿線

- ☆日本語教室ボランティア登録者募集！ 詳細 P10
- ☆視覚障がいのある小学生の下校時の付き添い募集 詳細 P10
- ☆烏山バザー当日ボランティア募集 詳細 P12
- ☆小1の学校内支援ボランティア募集 詳細 P12

## ● 世田谷線沿線

- ☆中2男子に勉強を教えてください方募集 詳細 P11
- ☆散歩の付き添いをしてくださる方募集 詳細 P11

## ● 東急線沿線

- ☆シンセサイザーの演奏法を教えてください 詳細 P10
- ☆ひとり暮らしのサポーター募集 詳細 P11
- ☆通学時間にバス停まで送ってくださる方募集 詳細 P11
- ☆日本語教室ボランティア募集 詳細 P11
- ☆バザーボランティア募集 詳細 P12
- ☆将棋の相手をしてくださる方募集 詳細 P13
- ☆保育園で経営栄養注入してくださる方募集 詳細 P13
- ☆ボラセン歌声ひろば 詳細 P15

にじのご春バザー  
5/30 (金)、31 (土) 10時～15時  
烏山区民センター前広場

子どもの  
ボランティア  
6/21 (土)  
子ども

障  
6/6

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。  
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにお  
したり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。  
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安には是非ご活用ください。

傾聴ボランティア講座  
6/11 (水)～7/16 (水) 毎週水曜  
13時半～16時 全6回  
玉川ボランティアビューロー P15

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## ボランティア求む

### 国立成育医療研究センターのボランティア募集

成育医療センターは主に小児が対象の医療機関です。外来ガイド、休日救急、病棟、シッティング、図書、シヨップ、園芸などをしていきます。詳細はホームページをご覧ください。

●募集説明会/5月29日(木) 13時半~16時

●場所/国立成育医療研究センター  
一内  
●問合せ/国立成育医療研究センター・ボランティアの会事務局  
TEL 3416・0181  
FAX 3416・2222  
<http://www.ncnd.go.jp/>

### 日本語教室ボランティア募集

世田谷区在住の外国人の日本語習得の手伝いをします。和気あいあいの1時間半の学習時間で皆さんの能力を発揮してみませんか。関心のある方は電話かファックスでお問い合わせください。

●日時/毎週木曜日14時~15時半  
●場所/代田ボランティアビューロー  
TEL 3323・4919  
(FAX兼用)  
090・9320・3186

### シンセサイザーの演奏法を教えてください

ひきこもりがちな20代の女性です。音楽が大好きなのですが、教室に通うのが難しいので、自宅(上用賃)でシンセサイザーの使い方、演奏法を教えてください方を募集しています。日時などは応相談。

●日時/応相談  
●場所/自宅(上用賃)  
●問合せ/玉川ボランティアビューロー  
TEL 3707・3528

### 日本語教室ボランティア登録者募集!

昨年7月から活動を始めた日本語教室です。地域に暮らす外国の方の中には、日本語が壁となって日常生活に不便を感じている方が大勢いらっしゃると思います。私たちはそんな外国の方の日本語習得のお手伝いをしています。また交流を通して、お互いの世界を広げることを目指します。学習者増加にそなえてボランティア登録者を募集します。

●日時/毎週木曜日19時~20時半(この他にミーティングあり)  
●場所/粕谷区民センター会議室  
●交通/千歳烏山駅徒歩10分弱  
●条件/交通費は自己負担。年会費として5000円。日本語教育の基礎を学んだことがあり、継続して木曜夜活動できる方希望  
●問合せ/にほんごサークル「わかば」担当 小林  
080-5086-8054  
wakabanhongoo@gmail.com

### 視覚障がいのある小学生の下校時の付き添い

長期となる小学校生活の中で継続して支援ができるように、複数人のボランティアによって交代制で活動しています。まずはお気軽にお問い合わせください。

①●日時/毎週水・金曜日15時半頃から40分ぐらい  
●行程/千歳烏山駅北口スクールバス停で子どもを迎え↓千歳烏山駅南口からバス乗車(約10分)↓小田急線千歳船橋駅近くの自宅(バス停から徒歩約10分)  
②●日時/毎週金曜日13時半頃から1時間ぐらい  
●行程/千歳烏山駅北口スクールバス停で子どもを迎え↓京王線千歳烏山駅で京王線乗車↓芦花公園駅下車↓関東バス上北沢五丁目バス停近くの自宅まで(駅から徒歩約10分)  
●条件/①、②ともに女性  
●問合せ/梅丘ボランティアビューロー  
TEL 3420・2520  
urnebora@otagaisama.or.jp

## 世 東 ひとり暮らしのサポーター募集

はじめまして。私は27歳(女)の重度身体障害者です。家族からの自立を目指し、9月から念願のひとり暮らしを始めました。

私は寝たきりで常時人工呼吸器を使用しているため、緊急時に誰もいないと危険です。そこで誰かが傍に居てもらえるように、ヘルパーさんが居られない10〜17時の時間帯に見守って下さる方を募集しています。特別な介助は必要あ

## 東 通学時間にバス停まで送ってくださる方募集

特別支援学校に通う元気な小学5年生の男の子を、上用賀4丁目の自宅からスクールバスのバス停まで送ってくださる方を探しています。バス停までは徒歩10分ほどです。スクールバスに乗るのを見届けて活動終了です。初めての方でも、最初は母親が付添いますので安心です。元気な方なら年齢・性別は問いません。詳しくはお問合わせください。

りませんし、月1回でも不定期でも良いので、介護の経験のない方もお気軽にお問い合わせ下さい。

●交通/三軒茶屋駅から徒歩13分  
●条件/20〜40代の女性  
●交通費は負担します。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 高橋

TEL 5712-5101

setabon@otagaisama.or.jp

## 東 日時/月曜から金曜(週1〜2回でも可)7時45分ごろ自宅を出発し徒歩10分ほどのスクールバスのバス停まで一緒に歩いて移動

●日時/月曜から金曜(週1〜2回でも可)7時45分ごろ自宅を出発し徒歩10分ほどのスクールバスのバス停まで一緒に歩いて移動

●場所/上用賀4丁目

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関

TEL 5712-5101

inezaki@otagaisama.or.jp

## 世 中2男子に勉強を教えてくれる方募集

区立中学に通う中学2年生の勉強を教えてくれる方を募集します。スポーツが好きな元気な子ですが、理解することにも人よりも少し時間がかかります。学習の遅れを取り戻すことを目的に、勉強のやり方を教えてくれる方を募集しています。詳しくはお問合わせください。

●日時/月・水・木・金曜日の1

## 世 散歩の付き添いをしてくださる方募集

視覚障がいのある60代女性が、1日おきに近所に散歩に行く際、付き添ってくださる方を探しています。血行をよくするため、散歩が欠かせません。車やバイクが入ってこない緑道をゆっくり歩きまわす。最初は経験者が付き添いますので、視覚障がいの方に接したことが無くても安心です。詳しくはお問合わせください。

●日時/金曜日の15時から約90分  
雨でも出かけます。

●場所/若林の自宅周辺

●条件/女性

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関

TEL 5712-5101

inezaki@otagaisama.or.jp

## 東 日本語教室ボランティア募集

地域に暮らす外国人へ日本語を教えてくれるボランティアを募集しています。男女、年齢、資格は問いません。

●日時/毎週土曜日10時〜12時

●場所/奥沢まちづくりセンター

日。17時〜21時半までの間で90分〜120分程度。

●場所/若林の自宅

●条件/交通費1回千円まで支給  
男性であれば40代くらいまでの方

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関

TEL 5712-5101

inezaki@otagaisama.or.jp

●交通/目黒線奥沢駅徒歩6分

●条件/できれば沿線や近隣の方

●問合せ/JCA玉川 奥沢クラス 担当 田中

TEL 3722-0275

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## ボランティア求む

### 東世 バザーボランティアの募集

世田谷ボランティア協会では、地域の皆様からご提供いただいた品物を、年に4回、リサイクル市（バザー）で販売し、その売上金を世田谷ボランティア協会が行うボランティア活動を推進するためのさまざまなプログラムの運営費用に充てさせていただきます。

- 毎週火曜日の13時から15時にバザーグループ「てんとうむし」がご提供いただいた品物の仕分けや
- 交通/田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩12分
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当・鈴木  
TEL 5712・5101

### 京 「鳥山バザー」当日ボランティア募集!

- 毎年5月に開催していた『春の鳥山もったいないバザー』ですが、今年は6月7日（土）に開催します。鳥山エリアを中心に活動するボランティア活動団体やNPO、福祉施設などさまざまな団体が出店する福祉バザーです。
- 鳥山バザー当日のボランティア募集中です！土曜日に単発で活動したい方におすすめてです。
- 内容/会場設営（テント設営・撤収、机・椅子の移動）、バザー
- 1の売り子のお手伝いなど
- 日時/6月7日（土）8時半〜17時の間でご相談。
- 都合の良い2〜3時間でも可。特に朝の設営、夕方の撤収をお手伝いいただくと助かります。
- ※バザー自体は10時〜15時半。
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関  
TEL 5712・5101  
inezeki@otagaisama.or.jp

### 京世 小学1年生の学校内支援ボランティアの募集

4月から世田谷区内の小学校に通っている1年生の女の子の学校内サポートをしていただける方を探しています。

- 出生時に脊髄の手術をしており、歩行・トイレにサポートが必要です。柔和で、めったなことでは騒いだり泣いたりせず、周囲を困らせるようなことのない大人な一面も持っています。
- 小学校生活が楽しく送れるよう

### 「東大病院にこにこボランティア」活動員募集

- 「いつも笑顔で応対しましょう。なにも差し上げるものはないけれど、せめてスマイルをあげましょう」という思いでたくさんの方が活動しています。
- 活動内容/外来エリアでの受診手続きのお手伝い、院内ガイド、車イス利用の方の介助、病院行事のお手伝い、入院エリアでの図書のお貸し出しなど
- 説明会/6月6日（金）13時半〜
- 研修/6月13日（金）15時〜
- 活動日時/月〜金①8時半〜11時半 ②9時半〜12時半 ③12時〜15時

- 力を貸していただませんか?
- 日時/月〜金曜日の8時20分〜14時30分の間。1〜2時間、週1日の活動でもOKです。
- 交通/下高井戸駅徒歩2分
- 条件/交通費支給
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関  
TEL 5712・5101  
inezeki@otagaisama.or.jp

- 条件/説明会及び車イス研修等に参加できる方で、①1ヶ月2回（1回3時間）以上活動できる②3時間立ち活動仕事ができる③6ヶ月以上活動できる④18歳以上70歳未満（ただし高校生は除く）
- 応募/所定の申込書（ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入の上、5月26日（月）までに応募ください。
- 問合せ/東京大学医学部附属病理事業ボランティアコーディネーター  
TEL 3815・5411  
volunteer@admin.u-tokyo.ac.jp

## 東 将棋の相手をしてくださる方募集

中町のグルーブホームに入所している80代男性が将棋の相手をしてくれる方を探しています。  
●日時/週1回程度。1回1時間くらい。曜日と時間帯はご相談しながら。詳しくはお問合わせください。

●交通/大井町線上野毛駅から徒歩10分程度  
●問合せ/世田谷ボランテアセンター 担当 今関  
TEL 5712-5101  
imazeki@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 東 保育園で経管栄養注入してくださる方募集

息子は、コルネリア デランゲ 症候群と診断されました。障害があるなか、幸いにも区立保育園に入園をすることができましたが、お昼の注入は保育園では対応できず、両親が勤務時間を割いて対応しています。入園時より栄養注入をしてくださる方を探しており、現在ようやく1名の方に週1〜2回来ていただいています。残りの日に来ていただける方を探しています。どなたか、息子に経管注入でお昼にミルクをあけてくださいませんか。(経口は不要です)

●条件/医療資格者または経験者、謝礼1回につき2000円から応相談(交通費別)  
●場所/三宿保育園  
三宿2-37-1、3  
問合せ/島田  
090-60054-0796  
ikuma827@gmail.com

●協力いただける方、もしくは関連情報などをお持ちの方、ぜひご連絡ください。  
●内容/幼児(3歳8カ月)への経管栄養注入(胃ろうから粉ミルク+栄養剤の注入)  
●日時/平日10時50分〜12時00分のうち50分程度(注入約20分+経過観察約30分)  
●週1、2回程度

## 講座・その他・募集

### 京小 セミナー「プレパークのつくりかた」

世田谷区内で4つのプレパークを運営しているNPO法人プレパークせたがやでは、セミナー「プレパークのつくりかた」住民・プレリーダー・行政の役割と機能」を開催します。  
ぜひご参加ください！  
●日時/5月23日(金)、6月6日(金) 10時〜12時 ※2回とも同じ内容です。  
●場所/男女共同参画センターらぶらす第4研修室

●参加費/1500円  
●申込/希望講座日・名前・連絡先を明記のうえ、メールまたはFAXで前日までに申し込みください。  
●問合せ/プレパークせたがや事務局  
TEL・FAX  
3414-4175  
setagaya@playpark.jp

### 「市民社会をつくるボランティアフォーラム」

ボランティア活動や市民活動に関心のある方々、実際に取り組んでいる方々を対象に、「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2014」を開催します。今回は2月のボランティアフォーラムの際に、天候の影響により延期となった4つの分科会を開催します。分科会の詳しい内容はホームページをご覧ください。

●日時/5月18日(日) 10時〜17時半  
●場所/飯田橋セントラルプラザ会議室  
●参加費/1000円(ただし2月のフォーラムに参加された方は無料)  
●問合せ/東京ボランティア・市民活動センター  
TEL 32605-1171  
http://www.tvac.or.jp

# 講座・その他・募集

## 東世 チャイルドライン公開講座2014

「子どもの気持ち、届いていますか？」

子どもの声を受けとめられる大人になるための講座です。

子どもと直接関わってきた講師陣の生の声やワークを体験して、せたがやチャイルドラインの『聴く』を体感してみませんか。聴く力を育てることは、自分と向き合い、自分を育てることもつながります。興味のある回だけでもご参加いただけます。

なお、この講座は「せたがやチャイルドライン」の受け手養成講座になっており、全回参加すると秋に行われる第19期受け手養成専修講座の受講資格が得られます。

① 6月6日(金) 19時～21時半「出会いのワーク」文屋裕子

② 6月13日(金) 19時～21時半「子どもの権利条約とは」天野秀昭

③ 6月20日(金) 19時～21時半「困難な状況を抱える子どもと向き合う」三好洋子

④ 6月26日(木) 19時～21時半「手にいれたい、まなわい」西野博

⑤ 7月5日(土) 15時～17時半「児童虐待の現状と児童相談所の役割」和田芳子

⑥ 7月11日(金) 19時～21時半「子どもの声を聴いてみる」田野浩美

⑦ 7月18日(金) 19時～21時半「ボランティアが支えるせたがやチャイルドライン」月田みつえ／星野弥生

⑧ 7月25日(金) 19時～21時半「コミュニケーションの体験」山本多賀子

● 場所／世田谷ボランティアセンター

● 交通／東急田園都市線・世田谷線 三軒茶屋駅徒歩12分

● 参加費／1回2000円、8回一括15000円(学割あり)

● 定員／30名

● 申込み／メールまたはFAX

● 問合せ／せたがやチャイルドライン

TEL 5712・5101

FAX 3410・3811

childline@otagaisama.or.jp

## 小 「障がい児支援ボランティア養成講座」開催

障がい児や、支援を必要とする児童にかかわるボランティアの養成講座を開催します。世田谷区内には、サポートを必要としている子どもたちが数多くいます。例えば、登下校の付き添い、授業中の学習補助など。こうした活動に関心のある方に向けた講座です。ご興味のある方は、気軽にお問合せください。

● 日時／6月6、13、20、27日、

● 参加費／資料代5000円

● 受付期間／5月1日～5月23日

● 問合せ／梅丘ボランティアセンター

TEL 3420・2520

meborae@otagaisama.or.jp

## 小 代田ビューロー春のバザー 提供品の受付

♪ 売り場リニューアル♪  
今回のバザーは売り場1階が雑貨類など、2階が衣類の販売となります。例年と異なりますのでご注意ください。

☆ 提供品のご寄付をお願いします。

☆ 受付できるものは、春・夏物衣料・贈答品・バッグ・アクセサリー等(秋・冬物衣料は次回10月のバザーにご提供願います)

☆ 受付できないものは、紳士もの背広・ワイシャツ、肌に触れた下着・靴下、電化製品、部品の交換を要するもの、家具、布団、書籍、景品類

● 参加費／資料代5000円

● 受付期間／5月1日～5月23日

● 問合せ／代田ボランティアセンター

TEL 3419・4545

dairaborae@otagaisama.or.jp

東

ココカフェ (Coco cafe)

「発達障がいの方、「こころ」で一緒にゆっくり過ごしませんか?」  
発達障がいの特徴をもつ方、そのご家族、また関心のある方…ちよつとのぞきに来ませんか?

●日時/5月9日(金)13時~16時(お好きな時間にどうぞ)

●毎月第2金曜日

●場所/玉川ボランティアビューロー

●参加費/お茶代100円

東

傾聴ボランティア養成講座

「無縁社会」と呼ばれ、孤独・孤立が広がっています。日常の中で会話をする機会が得られない方も少なくありません。少人数、全6回で丁寧に傾聴に取り組み、体験学習を通して、話すこと聴くことをグループで考え感じながら学んでいきます。

講座終了後、一緒に傾聴ボランティア活動を始めてくださる方の参加をお待ちしています。

●日時/6月11、18、25日、7月2、9、16日 毎週水曜日

※昨年度の「発達障がいの者の社会参加を支援するボランティア養成講座」(玉川ボランティアビューローにて開講)修了者が運営しています。

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tamaborae@otagaisama.or.jp

全6回 13時半~16時

●対象/おおむね30代~70代

●参加費/8000円

●場所/玉川ボランティアビューロー会議室

●交通/二子玉川駅徒歩5分

●定員/16名

●申込み/5月7日(水)10時~

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tamaborae@otagaisama.or.jp

京

子どもの虐待防止センター  
ボランティア相談員養成講座2014

(社福) 子どもの虐待防止センターでは、1991年より虐待や育児に悩む方からの電話相談を行っています。このたび、電話相談に対応する「ボランティア相談員」の養成講座を下記の通り開催いたします。みなさまのご応募をお待ちしています。

●日時/6月21日、7月5日、19日、9月6日、20日、10月4日、18日、11月1日、15日、29日(全10回)

●\*各土曜日 時間はいずれも14時~17時

●場所/社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

●受講料/22000円

●定員/15名程度

●応募条件/①講座に全回出席可能な60才位までの女性の方②相談員登録後の1年間は必ず週1回5時間以上(10時~17時の間)のボランティアが可能な方③月2回程度、平日夜の研修・会合に出席可能な方

●応募方法/申込み書(HPPからダウンロードが事務局へ請求)にご記入の上、郵送またはFAX(5月10日必着)

●問合せ/社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

世田谷区松原1-38-19 東建ビル202

TEL 53000・2451

FAX 53000・2452

http://www.ccap.or.jp/

東世

ボラセン歌声ひろば

みんなで歌を歌ってみたいと思っ  
ている方、歌うことで気持ちを  
発散させたい方など、ぜひ一緒に  
歌いに来ませんか?どなたでも参  
加できます。事前申込み不要です。  
●日時/5月21日(水)10時半~  
12時 毎月第3水曜日

●場所/世田谷ボランティアセン  
ター

●参加費/300円(茶菓子代)

●問合せ/世田谷ボランティア協  
会をささる会 担当 北嶋

TEL 5712・5101

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8741 FAX (5829)8743

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬2-20-9 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8742 FAX (5829)8743

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

気持ちのいい季節、外に出て何か始めたくくなりますね。お散歩がてらお近くの拠点にボランティア相談にお越しください。

### ◆ふらっと&withより

風薫る皐月のふらっと、withの風景は、新緑求めている旅が始まります。公園、史跡のみならず、表参道などの街路樹もお薦めです。一緒に行きませんかボランティア募集中!

### ◆チャイルドラインより

「せたがやチャイルドライン公開講座」の受講生募集中です!子どもの声を聴く「受け手」になりたい方も、まだそこまでではないけれど子どもの問題に関心のある方もぜひご参加ください。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます!世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### 編集後記

- この4月から担当が変わり、セボネを編集することになりました。月号何気なく読んでいましたが、読むのと作るのでは大違いですね。これからもご愛読よろしくお願い致します。一緒に紙面を作ってくださいる編集委員も募集中です。
- 2004年5月に「セボネ」が創刊してから10年がたちました。時代の変化とともに情報発信のツールはずいぶんと変わりましたが、紙媒体での発信とWEBでの発信、それぞれに充実させていきたいと思えます。
- 最近、大学生と一緒に仕事をする機会が多く、フレッシュなパワーに刺激を受けています!(み)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
興梠 寛